科目番号	0A00612
授業科目名（和文）	ウィンドサーフィン
授業科目名（英文）	Wind Surfing
授業形態	実習
標準履修年次	0A00612(修士 1)、0A00615(修士 2)、0A00618(博士 1)、0A0061B(博士 2)、0A0061E(博士 3)
開設学期	夏季休業中　集中
曜時限	夏季休業中　集中
教室	
単位数	1
担当教員	教員名：鍋倉 賢治、金谷麻理子、吹田真士 所属：体育系 学務担当：人間総合科学学術院人間総合科学研究群 主実施組織：人間総合科学学術院人間総合科学研究群
TF・TA	TF：なし TA：なし
オフィスアワー等	オフィスアワー：月曜日：15 時～17 時　メールにてまずはアポを（鍋倉 賢治） 研究室： 電話番号： E-mail：nabekura.yoshihar.fm@u.tsukuba.ac.jp
学位プログラム・コンピテンスとの関係	修士レベル 知の活用力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、チームワーク力、国際性 博士レベル 知の創成力、マネジメント能力、コミュニケーション能力、リーダーシップ力、国際性
授業の到達目標	・ウィンドサーフィンの基礎的な技術と知識を理解できる ・ウィンドサーフィンの基礎的な技術を技能として発揮し、走り出し、方向転換ができる ・自然環境の中で危険性、安全配慮を理解し、他者と協力し適切な行動を起こせる

	・生涯にわたってウィンドサーフィンに親しむ態度が養われる
授業概要	ウィンドサーフィンのゲレンデとして著名な霞ヶ浦・大山湖畔にて、4 日間の宿泊実習を行う。ウィンドサーフィンの基礎的な技能と知識を習得し、自然環境の中での危険性、安全配慮の認識を深める。また、生涯にわたってウィンドサーフィンに親しむ態度やその可能性を模索する。
キーワード	ウィンドサーフィン、レスキュー艇、自然環境、チャレンジ精神
授業計画	大学にて、事前講習（2 時間）を行ない、テキストを基にウィンドサーフィンの基礎理論を学びます １．ウィンドサーフィンの基礎理論 ２．道具のセッティング ３．レスキュー艇の操作とパドリング ４．基礎帆走 1：セイルアップと走り出し（5 ステップ） ５．基礎帆走 2：5 ステップからアビーム ６．応用帆走 1：風上回りの方向転換（タック） ７．応用帆走 2：風下回りの方向転換（ジャイブ） ８．海上 3 原則 ９．応用帆走 3：（ブイ回りによるロング帆走） １０．発展帆走（まとめ）：レース
履修条件	事前講習（別日）、宿泊実習（3 泊 4 日）にて行なう。 事前講習への参加、泳力検査の参加、学研災の加入、心電図検査（オリエンテーションで説明）
成績評価方法	評価方法:毎日の実習ノートの提出によって達成度を評価しながらフィードバックを行い、最終的にウィンドサーフィンの基礎技能の上達、最終レポートから評価します 評価基準:レポートによるウィンドサーフィン体験を通した自己の内省や自然への理解（50%）、ウィンドサーフィンの基礎技能として、微風下による適切な走行（50%）の両者合計で 60%以上を基準とする
教材・参考文献・配布資料	テキストを授業時に配布
授業外における学習方法	オリエンテーション後、実習までの期間に運動習慣を構築すること。事前講習を踏まえ本実習までに理論の復讐、自身の道具の準備などを行う
その他	
開講情報	オリエンテーション・授業日程（体育センターHP）
開講日	
備考	